

20歳の新たな門出を祝う ～平成24年東通村成人式～

成人の日の1月9日(月)、村体育館において、平成24年東通村成人式が開催されました。

当村において新成人を迎えた92名(男47名、女45名)のうち48名が出席し、多くの来賓の方々の祝福を受け、成人式が盛大に行われました。

式では参加者全員による国歌斉唱後、新成人を代表して柿本小波さん(白糠)が村民憲章を誦読。越善靖夫村長より「本日、成人の日を迎えられた皆さんの限らない前途を祝福するとともに、若さ溢れる新鮮な感覚とエネルギーによって、東通村が大きく発展するよう念願いたします」と式辞が述べられ、また、小笠原清春村議会議長から「友人同士励まし合い、優しさ、思いやりの心を忘れずに、明日の社会を築く原動力となられますよう心からご期待いたします」と祝辞が述べられました。

その後、新成人を代表して二本柳和真さん(小田野沢)へ記念品が贈呈され、最後に小川由紀さん(老部)が「成人式を迎え、たいへんな誇りと喜びを感じる一方、これからの東通村を担っていく、

という使命が課せられたことに、身の引き締まる思いでいっぱいです。成人として晴れの門出を迎え、今、大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいきます」と誓いのことを述べました。

また、アトラクションとして、鹿橋青年会より新成人の二本柳勇気さんが舞手となり、能舞「しのぶ」が披露され、力強い舞で新成人の前途を祝福しました。

最後には、参加者全員による記念撮影が行われ、20歳の出発にふさわしく、希望に満ちた笑顔と晴れやかな雰囲気となっていました。

新たな一歩を踏み出した新成人の皆さん、式での感激を忘れることなく、生まれ育った東通村を誇りに思い、立派な社会人として更なるご活躍を期待いたします。



祝辞を述べる小笠原議長



式辞を述べる越善村長



記念品を受けとる二本柳和真さん(左)



柿本小波さんによる村民憲章誦読



家族への感謝の気持ちを手紙にのせて...



能舞「しのぶ」を舞う二本柳勇気さん



小川由紀さんによる誓いの言葉